

## 「みんなでつくろう」新市民体育館・新荒川公園説明会 概要

- 1 日 時 令和8年3月8日（日）午後3時00分から5時30分まで
- 2 場 所 熊谷市立商工会館 大ホール
- 3 参加者 49名
- 市出席課 総合政策部スポーツタウン推進課、都市整備部都市計画課  
都市整備部公園緑地課、建設部河川課  
委託事業者（パシフィックコンサルタンツ株式会社）

### 4 質疑応答

#### 【質疑】

- ・ 資料の C,D 案について、以前の計画案では高さ制限の制約により、駐車場を下に整備できないとあったが、現在の検討では問題ないのか。
- ・ 国からの補助金の利用を含めて、提示している案は本当に実現可能か。

#### 【回答】

- ・ 用途地域の見直しを行うことで法令上可能な案となる。
- ・ 補助金については、整備案が確定していないため現時点で具体的な検討段階には至っていないが、いずれも実現可能性がある案として検討を進めている。

#### 【質疑】

- ・ （市民アンケートでは体育館の改修の意見や将来世代への心配をあげる意見も多数見受けられたが、サウンディング調査は、大規模開発が前提のようにも捉えられる。）体育館の改修のみという選択肢は検討しているのか。

#### 【回答】

- ・ 改修のみを希望する意見もワークショップでは出ており、全く検討していないわけではない。ただし、現在提示している A~D 案は体育館の建て替えを前提にした案であり、現状より規模や機能を拡充した内容である。今後のワークショップなども踏まえて検討していく。

#### 【質疑】

- ・ 現在も荒川公園の運動広場を頻繁に利用しているが、現在使っている運動広場がなくなるのは困る。
- ・ プレサウンディング調査で民間事業者から意見を聞いていると思うが、選ばれた 24 社の選定根拠を教えてほしい。
- ・ 荒川公園を利用している団体は複数いると思うが、そのような団体には調査を行ったのか。

#### 【回答】

- ・ プレサウンディング調査は、公園や体育館の改修に関心のある事業者、公園や体育館の運営実績を有する事業者を対象に、公募にて実施したものである。

- ・ 荒川公園を利用している団体へ直接意見を伺ってはいないが、アンケート実施中には荒川公園にも掲示をして周知したため、その中に意見として含まれていると認識している。

**【質疑】**

- ・ 4案の観客席数について、すべて3,000席を超えた案となっているが、現状規模程度で検討しないのか。
- ・ 4案いずれも駐車場70台の案となっているが、プレサウンディングの結果では100台以上の要望があったと思う。また、大会誘致を見込んでいる種目に関して駐車場台数が弊害になる可能性などについて調査しているか。

**【回答】**

- ・ ワークショップでも観客席数の現状規模を希望する意見は確かにあった。観客席数、駐車場台数についてはワークショップで出された意見などを参考に検討していく。

**【質疑】**

- ・ 体育館の老朽化に伴う新設、慰霊碑の移動、公園再整備などの説明があったが、どこまでが決定した内容か。
- ・ A～D案において、建設費だけでなく、ランニングコストも踏まえて検討するべきである。

**【回答】**

- ・ 総合振興計画を含む市の様々な計画の中で、熊谷駅南口周辺が新スポーツ・文化・健康拠点に位置付けられているが、本計画について現時点で決定していることはない。
- ・ ランニングコストについては算出が困難であるため、建設費用のみ概算で出しているが、意見を踏まえて検討を重ねていく。

**【質疑】**

- ・ 初期の計画が白紙になり現在の検討に至っていると思うが、“みんなで作ろう”というのであれば、今の場所に本当に必要であるか検討する必要があるのではないか。
- ・ ある程度の広さがあればスポーツはできるため、建物がなくてもスポーツ拠点としての整備はできると考える。

**【回答】**

- ・ 市の上位計画の中で、新スポーツ・文化・健康拠点として位置づけられていることなどを踏まえ、今回の荒川公園周辺の再整備が位置づけられている。ご意見として承る。

**【質疑】**

- ・ 新市民体育館も浸水リスクがあると思うが、災害拠点として考えていくなればアリーナが浸水しないことを第一に考えるべきではないか。

- ・ 沼津市総合体育館は2,000席程度で維持管理のコストを抑えていると思う。観客席数については、くまびあやくまがやドームなどで補うことで、新市民体育館には2,000席程度で十分なのではないか。

**【回答】**

- ・ アリーナを2階に配置する場合、物資の搬入、日常的な大会時の機材搬入の際に利用がしにくいというプレサウンディング調査時の事業者意見を反映している。また、2階に上げずに盛土することで浸水を免れる方法など、浸水対策について今後も検討していく。
- ・ 観客席数については、全国大会の規模を想定して算出したものとなっている。

**【質疑】**

- ・ 体育館建設費は体育館の建設費用のみか。公園全体の費用は示されるのか。

**【回答】**

- ・ 現在示している金額は体育館の建設費用のみである。公園全体の整備費は遊具や導入する機能によって大きく変わるため、現段階では算出できない。

**【質疑】**

- ・ グラウンド・ゴルフなどで、毎週10人程度だが広場を利用している。利用している側の意見としては広場をなくしてほしくない。
- ・ 交通量調査について、毎年花火大会があり、その時はかなり渋滞している印象がある。シミュレーションの結果は本当に正しいのか。

**【回答】**

- ・ 現在の交通量に対して、新施設を建設した際の交通シミュレーションを行っているため、花火大会のようなイベントとは異なると考えている。

**【質疑】**

- ・ 目の不自由な方の同行援護を行っている。熊谷市は人権を尊重することを掲げているが、目の不自由な人が意見を言えるように点字のはがきを設置してほしい。
- ・ 公募や意見を聞く機会について、ホームページや市報を提示して終わりにせず、みんなが利用する施設であるため、普及の方法についても力を入れてほしい。
- ・ 未来の世代に借金を追わせないために、経済的な面も考えてほしい。

**【回答】**

- ・ 障がいのある人は体育館使用料が減免になっているため、積極的にご利用いただきたい。
- ・ 点字のはがきの設置については庁内担当課に伝える。

**【質疑】**

- ・ A～D案の高さについて、どのように算出しているのか。景観が損なわれないか心配をしている。現在の市民体育館の高さはどのくらいか。

**【回答】**

- ・ 1階建ての案は14m～20mを想定している。2階建ての案については、それに駐車場分3～4mを足した高さとなっている。いずれも建築基準法など法令で定められている中で決めていく。現市民体育館の高さは今資料が手元がないので正確にお答えできない。

※現市民体育館の高さは約15m

**【質疑】**

- ・ まちづくりの計画としての位置づけ、また体育館の位置付けに関する文言の中で、新スポーツ・文化・健康拠点としての位置づけが記載されているが、スポーツに関する記載のみで文化についての記載がされていない。文化会館や図書館が付近にあるが、老朽化が顕著である。今回の整備では体育館だけ改修をするか、また文化拠点はいつ、どこにできるか。
- ・ 文化的な面に力を入れていくのであれば、体育館という名称を変えてほしい。

**【回答】**

- ・ 文化会館との複合化に関する請願があったが、平成29年に文化会館の耐震化工事を行っていることから、複合化を断念した。体育館では今でも美術展を行っており、今後、芸を披露していただくなど、体育館という名前ではあるが文化にも供する施設になっていくと考えている。

**【質疑】**

- ・ 規模について、今の規模の改修で良いという意見があったが、日常使いの人と大会利用で意見が対立すると思う。規模の策定について、いつどのように決めていく予定か。
- ・ 人口減少が進んでいく中で、建設費や維持費を伴う体育館をどのように運営していくのか。その点検討しているのか。
- ・ 協議会で決める際、声の大きな人の意見だけ聞かないようにお願いしたい。経済についてもシビアに検討していくようにしてほしい。

**【回答】**

- ・ 今後は、学識経験者や地域関連団体で構成する協議会に諮るが、ワークショップや民間事業者へのサウンディング調査などを総合的に踏まえて検討していく。
- ・ 次の世代に何を残すかを検討している中で、利用者呼び込み、税収増につながる可能性のある施設にしたいと考えている。その点を踏まえて整備方法や施設規模を検討していく。
- ・ 協議会の議長は大学の先生が務め、熊谷市在住者ではない。専門的かつ客観的な立場から議論を整理していただく予定である。

**【質疑】**

- ・ 建設費、維持費が膨大になり、市民の税負担が増えることを懸念している。前市長の申し送りでこの施設計画の話が出たとあるが、その理由だけで進めるのは納得できない。市民が払うお金であるため、慎重に考えてほしい。
- ・ 駐車場が敷地内 70 台、河川敷利用となっているが、少なすぎる。特に高齢者や子育て世代にとって、河川敷からの移動は大変である。エスカレーター設置なども検討してほしい。
- ・ 公園南側道路を無くす案になっているようだが、再検討を求める。

**【回答】**

- ・ 熊谷市はこれまで比較的健全な財政運営を行ってきたが、一方で老朽化した施設の建て替えが遅れてきたという課題もある。今回の計画は、施設数を増やすものではなく、既存体育館をグレードアップして建て替えるものである。今後の人口減少を踏まえ、施設の統合や運営コスト削減も含め、全体の財政状況を見ながら進めていく。
- ・ 駐車場は既存体育館と同規模を確保したもののだが、例えば熊谷スポーツ文化公園のような台数が多い駐車場で、普段はかなり空きがある状況も見ているので、皆様の意見を踏まえながら今後検討していく。
- ・ 南側道路を廃止する計画はない。現時点では道路を残す前提で検討をしている。

**【質疑】**

- ・ 荒川公園の開園から 49 年と記載してあるが、何を起点としているか。
- ・ 体育館の名前を決める際も、スポンサーを募って税収対策をした事例もあることから、市民体育館についても、そのような税収対策ができると良い。
- ・ 今後の体育館の設計者の選定についてもオープンにしてほしい。

**【回答】**

- ・ 都市計画図上、荒川公園として開設されたのが昭和 51 年であるためここから算出している。公園自体は元からあるが、起点は昭和 51 年としている。

**【質疑】**

- ・ 協議会のメンバーは公募するのか。市の意向が通りやすい人を選定することを懸念している。文化団体からも選出してほしい。
- ・ 誰が参加しているのか、市民に事前に公表されるのか。

**【回答】**

- ・ 公募ではなく、近隣自治会連合会、教育、福祉、子育て、防災、スポーツ・文化、商工業、観光分野の各団体から推薦いただく予定である。
- ・ 協議会が始まる段階で、可能な範囲で情報を公表していく予定である。

**【質疑】**

- ・ 老朽化する公共施設が増える中で、市全体を見た際に体育館計画は本当に将来世代の負担にならないか。
- ・ 市民と市民でない人の利用料金は別にする予定か。

**【回答】**

- ・ 熊谷市はこれまで借金が少なく、健全な財政を維持してきた。今回の体育館は駅前という立地を生かし、市外利用や大会利用、ネーミングライツなども含め、稼げる施設としての運営も検討していく。同時に運営コストを抑えることも重要であり、そのバランスを取りながら進めていく。
- ・ 別自治体からの利用者は金額を上げる想定である。

**【質疑】**

- ・ “県北の雄“は昔の話である。この考え方から他の自治体より大きな建物を建てるといった考え方は避けてほしい。身の丈に合った計画にしてほしい。

**【回答】**

ご意見として承る。

以上